

編集後記

年報第14号を、関係する方々のご協力によって、ここに発行することができました。今回は、特集のテーマとして“卒業生輩出「最初の10年」”を設定しました。これは、今回テーマに向けて高橋委員から出された案でした。本年報の対象年度である2009年の3月をもって、第1期卒業生が巣立ってから10年が経過したことになり、正に時宜を得たものと言えます。8月に開催された第1回年報委員会で諮りましたが、その場で、すぐにこれで進めようということになりました。

環境科学部は、本学の開学当時、全国で唯一の「環境科学」を名称に掲げた学部として発足したのですが、初期には教育面においても、まだ模索の部分、安定していない部分も多くあったと思います。しかし、その中で新しい教育を追求しているという“開拓者”的な雰囲気も学生には伝わっていったと思います。その後の教育実践、経験の蓄積の上で教育も一定の安定化、充実化をみせ、環境フィールドワークなど各方面から注目を集めるようになっていきます。

その様な本学部での教育を受けて育ち、巣立っていった卒業生の皆さんが、現在どのような仕事に、どのように考えながら取り組んでおられるかという様子についてや、学生時代を振り返りながら本学部の教育についての感想、ご意見などを中心に寄稿してもらいました。また、これまでの環境科学部の教育・研究の充実に関心し、学生生活や進路にも気を配ってこられた学部長経験者の方々にも登場して頂き、当時の気遣いや、これからの本学、本学部の教育のあり方など多面的なご意見などを頂きました。

今回の特集は、この様に学外の方々的大幅なご協力を得てしか組めないものでしたが、皆さんから原稿執筆についてご快諾の上で送付いただき年報委員一同、感謝しております。また、博士學位論文など、多くの原稿を頂きましたが、このことについてもご協力に謝意を表したいと思います。

環境科学部年報委員一同

環境科学部年報委員会

委員長 水原 渉
委 員 後藤 直成(環境生態学科)
高橋 卓也(環境計画・政策学科)
高田 豊文(環境建築デザイン学科)
上田 邦夫(生物資源管理学科)

環境科学部 環境科学研究科 年報第14号 卒業生輩出「最初の10年」

発行日 2010年3月31日
発行所 滋賀県立大学環境科学部
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
Tel 0749-28-8301
発行人 奥 貫 隆
印刷所 共栄印刷株式会社